

家庭教育支援パンフレット



お子さんの健やかな成長を願って

子育ては 親育ち



子どもとの会話を大切にしましょう

令和3年度

大仙市教育委員会
大仙市家庭教育支援チーム

心にゆとりをもって！

小学生になると、子どもは急速に成長し、世界を広げていきます。わが子の変化に驚き、とまどうことも多いでしょう。



幸せを願い、わが子の成長を喜びながら、子どもとの時間を一番大切にしているママ・パパ
仕事も子育ても両立させてがんばっているママ・パパ

ちょっと、肩の力を抜いて読んでみてください。

子育ての不安や悩みはだれにでもあります。

そもそも子育てをはじめからうまくできる親はいません。

親も人間です。パーフェクトな親なんて一人もいません。

これで100点！ という子育て法は、もちろんありません。

振り返ってみてください。

これまで、わが子に気づかされ、教えられたことがありましたね。

みんな、子育てしながらママ・パパは「親」になっていくのですね。

気をつけたいことは、あなた一人で、がんばりすぎないことです。

周りからいろいろ言われることもあるかもしれませんが、

あなた一人で、責任を背負い込まないでください。

大事なことは、心にゆとりをもつことです。

ママ・パパの心のゆとりは、子どもに自然に伝わっています。

心のゆとりが、子どもの健やかな成長につながっています。

**そのために、子育てを相談できる相手をつくりましょう。
子育ての協力者や子育ての仲間とのつながりをもちましょう。
相談すれば、新しいアイデアを得られるかもしれません。
つながりをもつことで、心にゆとりが生まれてきます。**

家庭のルールをつくろう！

家庭内にルールがありますか？

子どもの生活について、子どもが実行するルールがありますか？

たとえば・・・

朝は 時に起きます。

出かけるときは、どこへ、だれと行き、いつ帰ると家族に言います。

ゲームの時間は 分間、終わりは 時までです。

スマホ・SNS、Youtube は、 時までです。

夜は 時に寝ます。

ルールは親子で話し合ってつくります

親に一方向的に決められたことより、

話し合っただけの方が子どもは実行しようとしません。

子どもが実行できたら ほめます（認めます）。

認められると次も実行していきます。

その積み重ねで、子どもは、自律していき自立心を持ちます。

また、家庭のルールやマナーを守ることは、社会のマナーや学校のルールを学ぶ基礎となります。

だから、どんなに忙しくても、

子どもに向き合う時間を大切にしたいですね。

たとえ短い時間であっても、子どもに100%向き合う会話を毎日のこうした会話の積み重ねで、親子の関係は深まっていきます。

会話の積み重ねから、

子どもは、ママ・パパの願いや思いを、自然に感じ取っていきます。

物事の良し悪しや悩みの解決方法なども、自然に学んでいきます。

そして何より、子どもの心は安定していきます。



ネットとのつきあい方も話し合って！



インターネット上の世界には、子どもたちにとって役立つ情報がたくさんある一方で、暴力的な表現等といった悪影響を及ぼす有害な情報も数多く存在します。また、メールや掲示板、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などのコミュニティサイトでも、利用方法を誤ると、自分が気付かないうちに見知らぬ人に個人情報を知られてしまうなど、様々なトラブルが生じる危険があります。

こうしたトラブルに巻き込まれることなく、子どもたちが安全に、安心してインターネットを利用するために、保護者がその特徴や、様々なリスクについても理解しながら、子どもを見守ることが重要です。

実社会でやってはいけないことは、ネット上でもやってはいけません。子どもが、上手にネットを活用できるようにするために、家庭のルールを作りましょう。ルール作りは、子どもと一緒に、利用目的や利用場所・時間帯を話し合っただけでルールを決めることが大事です。また、そのルールは、成長とともに少しずつ改定していくことが必要です。

ルールやマナーを守る習慣を身に付けさせるとともにスマートフォン等の利用状況については、子どもと折に触れて話し合い、問題がないか確認してください。万が一、トラブルが生じたときには、子どもが一人で抱え込まず、すぐに保護者に相談するよう、ふだんから子どもと話しておきましょう。

お子さんのスマートフォン等の利用状況を把握するために、「ペアレンタルコントロール」の活用や不適切な情報や危険な出会い等を防ぐために、「フィルタリングサービス」を賢く利用することも大切です。

(参考：生徒会・児童会が中心になって作成したルールです。)

花火の街 安心・笑顔の六(花)条



おおまがりちゅうがっこう く エスエヌエス ～大曲中学校区SNSルール～

①はい、おわり！ 9時になったらストップ送信

友達にメッセージを送ったり、電話したりするのは、夜9時までにして。夜9時以降は返信もしない・させない・続けないのが、マナーです。

②なやまずに 家族に報告 すぐ相談

家族に見せられないような内容の投稿やメッセージは禁止。犯罪に巻き込まれるケースが増えています。トラブルが大きくなったり、詐欺や迷惑メールに悩まされたりしないように、困ったらすぐに相談しよう。

③びっしり勉強 ゆっくり話そう ノーメディア

ノーメディアデーとして、毎月第1月曜日はスマホやゲームを使わない生活をしよう。家族みんな協力して、勉強に集中したり、ゆっくりと家族で語り合ったりしよう。

④のせないで 個人情報 みえる写真

個人情報がわかるような画像・動画はSNSに投稿してはいけません。また、友達が知らずに映り込んでいないか、よく確認しよう。他人が撮った画像や動画を、許可なく拡散するのは絶対に禁止。

⑤まもろうよ 家族で決めた 時間とルール

時間の際限なくずっとスマホに向かっていたり、課金や登録が自由にできたりするのは考えもの。家族で話し合い、必ず時間や内容のルールを決めてから使おう。守れなかったときにはどうするか決めておこう。

⑥ちがってない？ 自分と相手のとらえ方

相手がこれを見たらどう感じるか、文章が誤解されるものではないか、必ず相手の立場に立ち、送信する前によく考えよう。相手が送ってきた場合にも、どういう意図で送ったのかよく考え、勘違いを防ごう。

仲間づくりを学ぶ機会に！

子どもは大きくなるにつれ、親子関係より子ども集団の関係で育ちます。しかし、子ども集団の中ではトラブルがしばしば起こります。



もし、子どもがトラブルで悩んでいたら？

もちろん、子どもの悩みをよく聞きます。

そのとき子どものモヤモヤした気持ちをくみとって聞くことが大事。

子どもは話すうちに気持ちが整理され、どうするか考え始めます。けっして、親が一方向的に解決策を伝えない方がよいでしょう。

子どもに「～しなさい」「～してみたら」などと伝えがちですが、親が子どもに代わって解決しても、本当の解決に結びつきません。トラブルは、子どもに乗り越える力を育むチャンスでもあるのです。

しかし、問題が大きいと感じたときは事実を確かめる必要があります。相手や周囲に聞いたり、学校の場合は担任に確認したりします。

けっして、子どもの話（言い分）を鵜呑みしないことです。

子どもは、自分にとって都合が悪いことを隠しがちです。

また、子どもはウソをつくことがあります。

子どもがウソをつくの社会経験が少ないので困ったときの解決方法を考えつかないからです。

子どもがトラブルに直面したとき

どうしたらよいか、その解決方法を親子で話し合しましょう。

親子の話し合いは

仲間との関係づくりを子ども自身に考えさせ学ばせる絶好のチャンスにもなっているのです。

ママ・パパは、その後の子どもの様子を見守りながら、子どもによりよく解決する力を育てていきましょう。

子どもの心に響く話し方！

言葉のキャッチボール

けっして一方的ではない、お互いの気持ちを交わす会話です。

「あのね…」「うん、うん」「わたしね…」「そうなの」…お話がつながって、気持ちも通い合う言葉のキャッチボール。

子どもの心には、親の正直な思いは響きます。

子どもは親の思いに気づき、どうすべきか考えるようになります。



ほめるとき

子どもは、ほめられると自信をもち意欲的になります。

自分にはよいところがあると感じて、何ごとにも前向きになります。

しかし・・・

できた結果だけをほめられると、失敗を恐れるようになります。

できなかった場合を恐れるからです。

結果だけでなく、がんばったプロセスをほめることがポイントです。

ほめることは認めることです。

がんばったプロセスを認められた子は、失敗を恐れずチャレンジしていきます。

しかるとき

しかるのは、子どものよくない行為です。行為そのものだけです。

けっして、「ダメな子ね」などと人格を否定するしかり方はしません。

- ・危険なことをしたとき・命に関わるとき（交通ルールを守らないなど）
- ・人を傷つけたとき（いじめ、暴力など）・人に迷惑をかけたとき（ものを壊す・盗む、借りたものを返さないなど）

そして、しかったあとは、諭すことが大事！

- 何が悪かったのか、子供にわかるように伝えましょう。

励まして意欲を喚起する言葉を、忘れず付け加えます。

～子どもとの会話を楽しみましょう～

子どもは、自分の気持ちを受け止めてもらっていると安心します。



親子の会話で、ママ・パパは聞き上手に！

うなずいて聞いたり、あいづちを打って聞いたり、

「～だったのね」と子どもの言ったことをくりかえして聞くと、子どもはもっともっと話したくなります。

自分の気持ちを受け止めてもらっていると話したくなります。

本当の気持ちに気づいて！

子どもは自分の気持ちを、うまく言い表せません。そのため、自分の気持ちを分かってもらえないと感じるときがあります。子どもの心の奥にある気持ちに気づくのは、ママ・パパです。

家庭教育について どんなことでもご相談ください

子どもの発達や
学習の遅れが心配

子どもが言うことを
聞かず困っている

いじめられて
いないかと
気になる

家族の理解など
家庭問題に
悩んでいる



大仙市家庭教育支援チーム

相談窓口

事務局 大仙市教育委員会生涯学習課
〒014-8601 大仙市大曲上栄町2番16号
電話 0187-63-1111 (内線 338・339)

